

第3回外務省政策会議
(概要記録)

日時：10月13日 11:00～12:00

場所：衆議院第二議員会館 第一会議室

出席議員の概数：70名程度

議題：(1) 第2回外務省政策会議の追加資料の説明と平成22年度予算の概算要求について

(2) 税制改正要望について

1. 第2回外務省政策会議の追加資料の説明と平成22年度予算の概算要求について

(1) 外務省からの報告

冒頭、武正副大臣より、来年度概算要求については15日の提出期限に向けて現在鋭意作業中である、前回出された要望を踏まえて、小項目についての細かい数字が入った資料を配付した、この政策会議を通じてご意見やご提案をお伺いしたい旨述べ、続いて外務省の事務方より、前回政策会議における議論を踏まえ、前政権下で提出された概算要求について重点項目に即して説明するとともに、義務的経費、裁量的経費及びODA予算の内訳についても資料を用いつつ説明を行った。

(2) 質疑応答(10名程度の出席議員が発言)

外務省からの報告を受けて、出席議員により活発な議論が繰り広げられた。主な意見・質問等は以下のとおり。

- ・ 予算編成にあたっては、まず外務省の政策がこれまでどのような効果を挙げてきたのか、評価を行うことが重要。
- ・ 任意拠出金を大幅にカットすることは可能か。
- ・ 鳩山政権が重視するアフガニスタン・パキスタン支援は、概算要求ではどのような形で反映されるのか。
- ・ 難民問題への対応に係る予算は法務省や厚生労働省なども要求していると承知。各省毎ではなく政府全体としての要求額を示すべき。
- ・ 分担金・拠出金はどのようにして国際機関に振り込まれるのか。
- ・ 税金の無駄遣いに切り込んでいくという政治的メッセージを発出すべき。在勤手当についても是正していくべき。在勤手当関連の資料を提出してほしい。
- ・ 政策会議では、岡田外相のアフガン・パキスタン訪問等、最近の外交日程に

についても報告してほしい。また、日本外交を今後5～10年どのように進めていくべきかについてのビジョンを示してほしい。

これらに対し、外務省より、任意拠出金を大幅にカットすることは国際公約等との関係で困難である、アフガン支援については現在政務部門で検討中である、在勤手当の問題も含めて無駄遣いをやめる必要については問題意識を共有しており、15日の概算要求提出には間に合わないかもしれないがその後の作業の中できちんと精査する、岡田外相の外国訪問、特にアフガニスタン・パキスタン訪問については大臣帰国後に改めて報告したい、日本外交については国連での演説で新政権としての抱負を述べたところであり、東アジア共同体構想等、徐々に動き出しているところであるし、また日中間ではガス田開発や食の安全についても主張してきており、こうした全体の組み合わせの中で理解してほしい旨述べた。

また、予算編成に関し、概算要求提出までの日程は極めてタイトであるが、個々の事業に関し特段の提言がある場合は明14日5時までに吉良政務官に提出してほしい旨述べた。

2. 税制改正要望について

武正副大臣より、外務省分の税制改正要望につき今月末までに取りまとめて提出するよう税制調査会から指示があり、外務省関連で何か提言がある場合は23日までに同様に吉良政務官に提出してほしい旨述べた。

< 配布資料をファイルで添付 >

(以上)